

# 令和3年第1回安城市議会定例会請願文書表

令和3年3月2日

番 号	請 願 第 9 号	受理年月日	令和3年2月17日
件 名	ゼロカーボン達成に向けた取組みの推進に関する請願		
提 出 者	ABKの朝美活 代表 野 村 豊 美		
紹 介 議 員	石 川 博 英 辻 山 秀 文 今 原 康 徳 永 田 敦 史		
付 託 委 員 会	産業建設常任委員会		
要 旨	<p><b>請願の趣旨</b></p> <p>日常生活や企業の経済活動など、私たちの暮らしは、生物資源や化石燃料など、地球上の様々な資源を利用し、ごみや温室効果ガスを排出するなど、地球環境に様々な負荷をかけています。</p> <p>環境問題は、人権や貧困などといった地球上の様々な課題とも複雑に関係し、自然破壊や気候変動などという形で、私たちの暮らしを脅かしています。</p> <p>IPCC（気候変動に関する政府間パネル）によれば、今世紀末の世界平均気温の変化は、現在よりも、0.3～4.8度上がるとされており、世界的な平均気温の上昇を産業革命以前に比べ、1.5度に抑えるためには、遅くとも2050年までに温室効果ガスの排出量を実質的にゼロにする必要があるとされています。</p> <p>政府として、菅総理が、令和2年10月の所信表明演説において、2050年に国内の温室効果ガス排出を実質ゼロにすると宣言されました。また、11月に衆参両院において、「地球温暖化問題は、もはや気候変動の域を超えて、気候危機の状況に立ち至っている」との認識を共有し、「脱炭素社会の実現に向けて、経済社会の再設計・取組みの抜本的強化を行い、国を挙げて実践していくこと」との決意が示され、「気候非常事態宣言」が全会一致で採択されました。</p> <p>こうしたことから、安城市においても、ゼロカーボン達成に向けた取組みを推進することを請願します。</p>		
	<p><b>請願事項</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「ゼロカーボンシティ宣言」を検討するなど、2050年までの二酸化炭素排出実質ゼロの達成に向け、地球温暖化対策を行うこと</li> <li>地球温暖化や気候変動に関することなど、市民や事業者への周知啓発を行うこと</li> <li>自然災害に対する適応力を高め、持続可能な地域づくりを行うこと</li> <li>市民、事業者、他都市などとの連携・協働に努め、環境学習の充実と環境行動の支援を行うこと</li> </ol>		